

11 月 15 日：VN 指数は売り基調が継続 (VN-Index -1.08%)

- 昨日から弱いセンチメントは改善せず、VN 指数は下落して開始した。
- 昨晚パウエルFRB 議長より 12 月の追加利下げに対する消極的な発言があったこともあり、指数は下げ幅を広げていった。
- 後場には下げ止まったものの、改善は見られず取引を終了した。
- セクター別では、保険と資本財・サービスのみがプラスだった。
- 75 銘柄が上昇、305 銘柄が下落、49 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 15.5%上昇し、18.6 兆ドンとなった。

VN30 指数も弱い値動き (VN-30 -1.20%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、3 銘柄が上昇し、26 銘柄が下落。1 銘柄が変わらずとなった。
- 上昇したのは VRE (+0.55%)、SSB (+0.30%)、BVH (+0.11%) のみ。
- SSI (-3.04%) の下落が最も大きく、MWG (-2.28%)、HDB (-2.18%) なども下落が大きかった。

セクター・個別株の動き

- GEX (+1.10%) は 2024 年 1 月～10 月までの業績を発表した。純売上高は 26 兆 6,680 億ドン、税引前純利益は 2 兆 5,580 億ドンとなり、同社の 2024 年目標に対しそれぞれ 83%、130%を達成した。
- BCM (-0.87%) は債務再編のため、額面 1 億ドン、発行総額 10 億 8,000 万ドンの債権発行を計画し、取締役会にて承認した。銀行に対する債務・利息の支払いが目的。
- 外国人投資家は 1 兆 3,180 億ドンを売り越した。買い越し銘柄では KBC (+2.44%) がトップとなり、売り越し銘柄では VHM (-0.25%) がトップだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。